

多職種連携研修会 特別講演会

《アンケート集計》

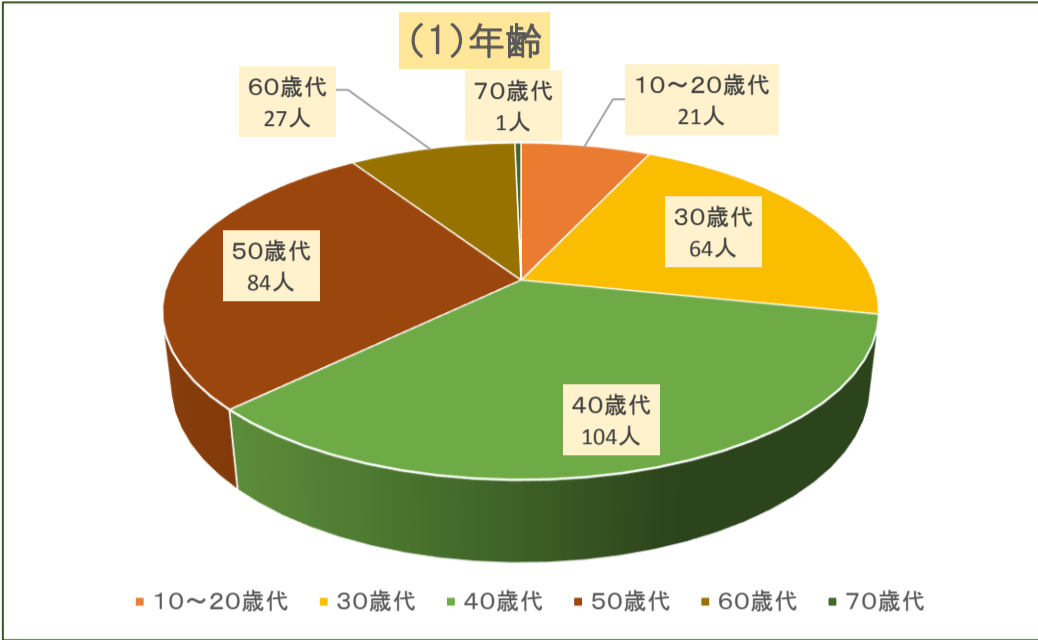
演題：人生の最後まですごせる社会を目指して ～死を前にした人にあなたは何かができますか？～

講師：小澤 竹俊 先生

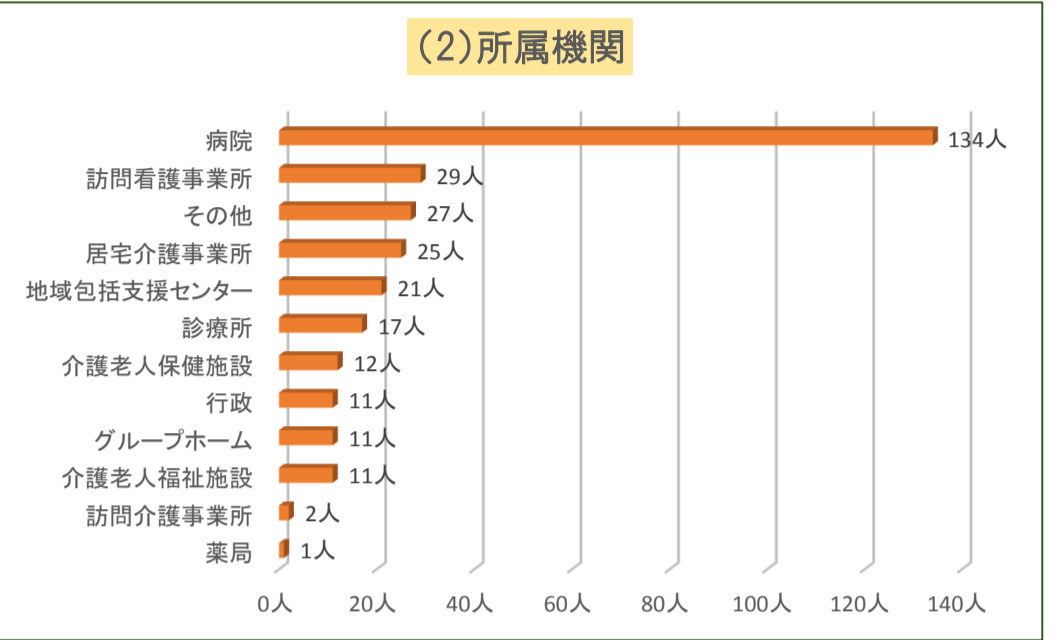
開催日：平成30年10月19日(金) 会場：レオプラザホテル

参加者数	354	アンケート回答者数	301	回収率	85.0%
------	-----	-----------	-----	-----	-------

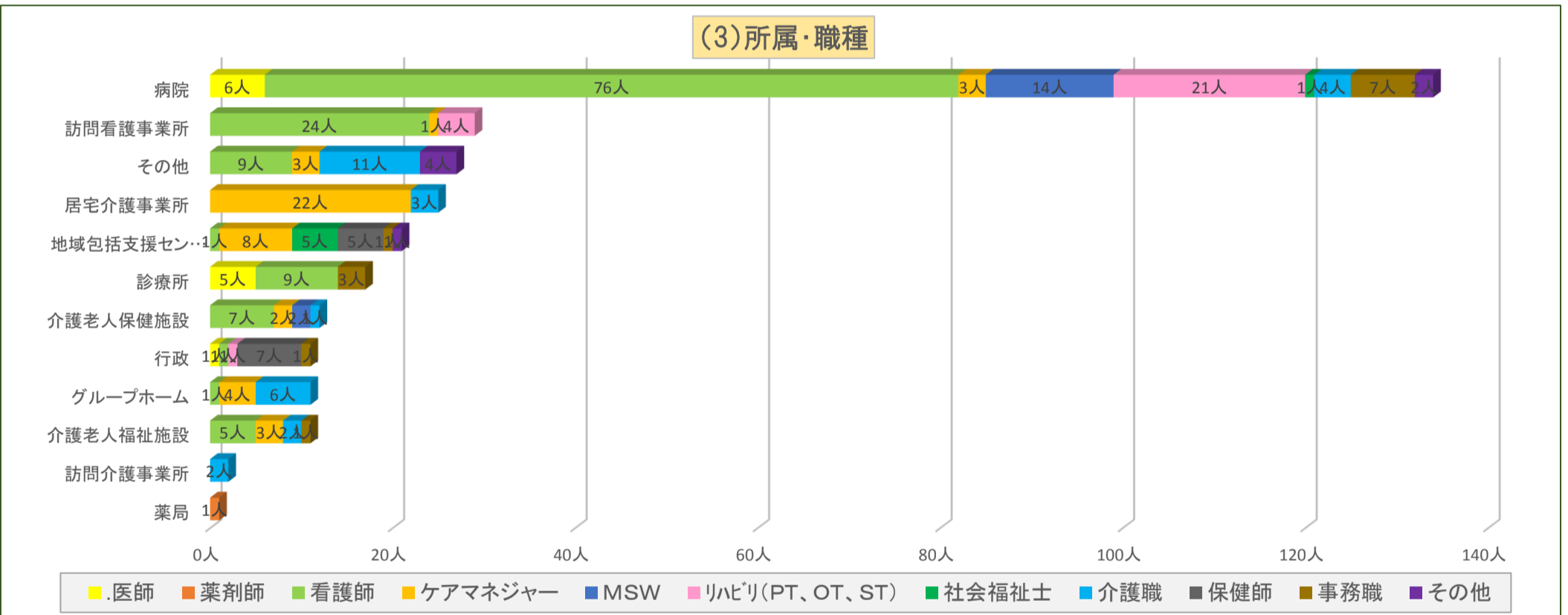
(1)年齢について



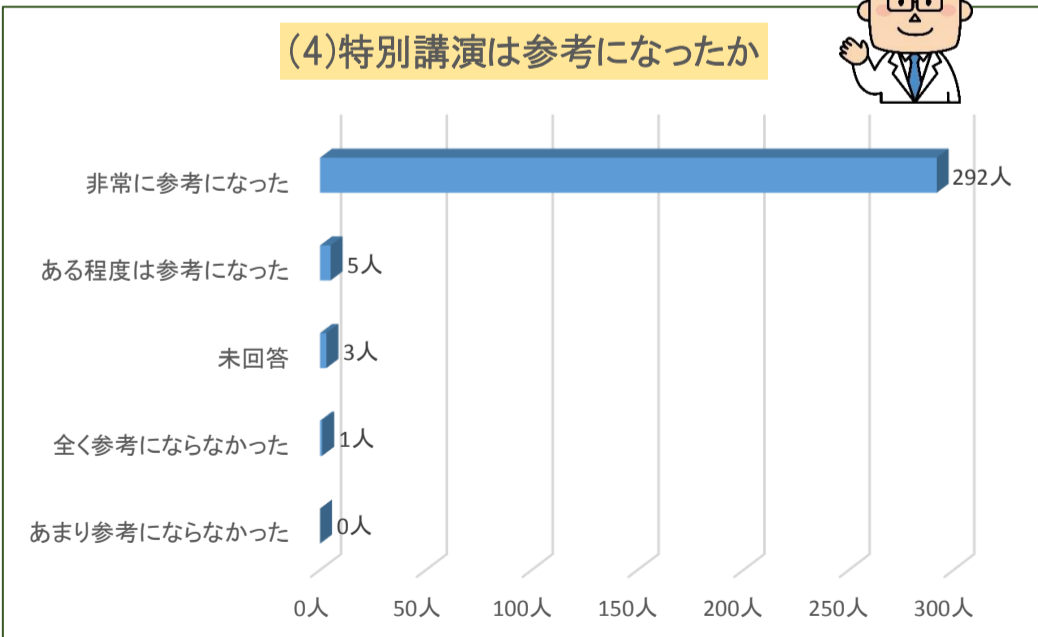
(2)所属機関について



(3)所属機関において主とする業務の職種について

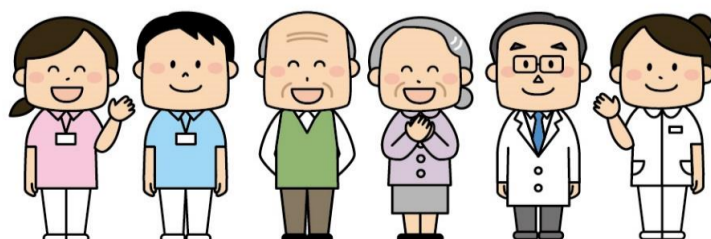


(4)小澤先生の特別講演は参考になりましたか

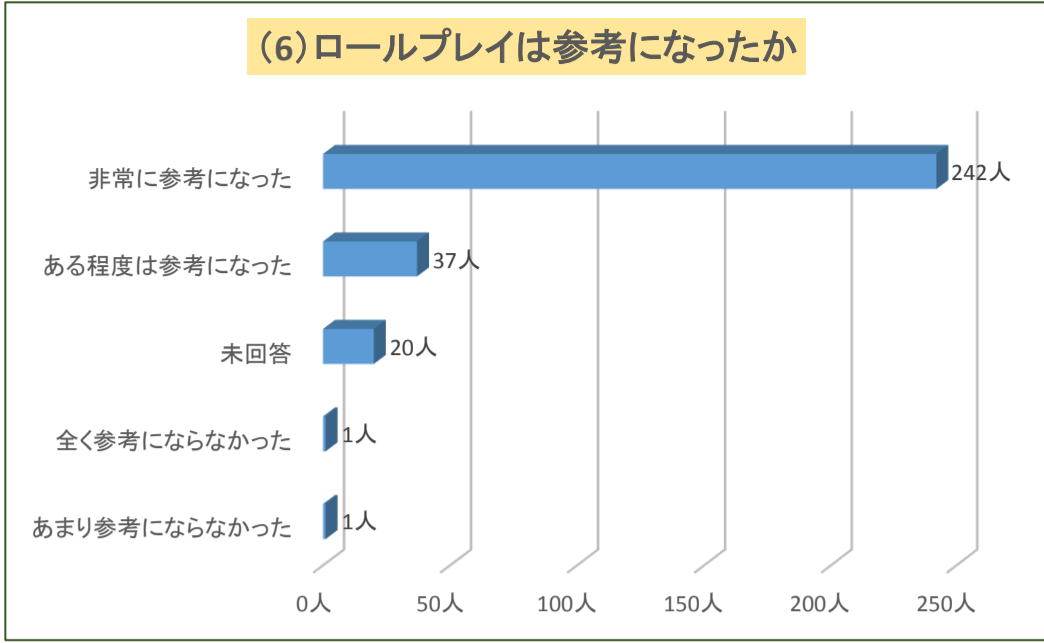


(5)小澤先生の特別講演についてご意見感想など自由にお書きください(抜粋)

- ・もう少し患者さんと真剣に向きあう必要あり
- ・様々な研修を受けてきましたが、No.1でした。涙と笑と感動でした。自分にもいつか訪れる死。どのような終わり方がいいかと考えました。大切な人の別れ方も考えました
- ・初めて小澤先生の講演を聴きました。在宅(往診ナース)に携わりまだ3年ですが、患者さんの支えになりたいと思い頑張ってきました。小澤先生のお話とても良かったです。佐世保での在宅頑張ります
- ・まず先生の声、語り口、振る舞いすべてに癒されました。今知りたかったこと、聞きたかった事が沢山詰まった内容で、地元でお話を聞かせて頂けたことは、今後の仕事への取り組みや生き方にも大きく良い影響を受けたと思います。またお話聞きたいです
- ・ついついこちらが尋ねたい事を聴こうとしますが、そうではなく相手に理解者と認められるためには聞くことが大切だと改めて気づきました。他にも沢山ハッとすることがありました。ありがとうございました
- ・愛しい時間、心洗われる瞬間、涙する時、自身の大事な人を想う時間でもありました



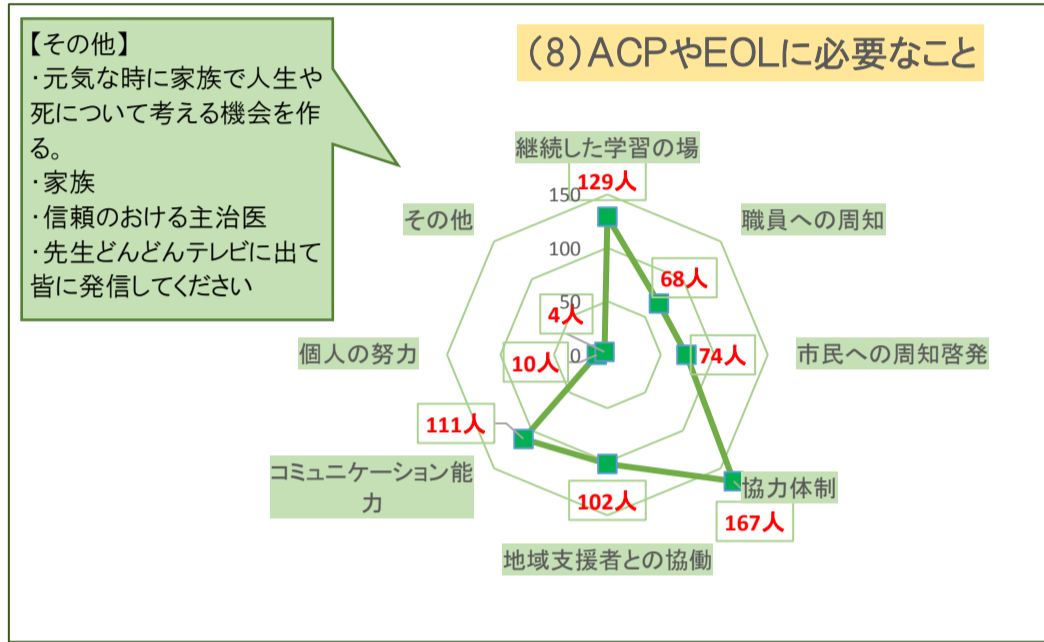
(6) ロールプレイは参考になりましたか



(7) (6)でお答えになられた理由を教えてください(抜粋)

- ・患者が何を考えているのか。これまでは私が欲しい情報を収集することに力を入れていましたが、今後は反復をして引き出していきたい
- ・わかっているようでわかっていなかったことや、つい知っていることを伝えることが良いことだと思い込んでいましたが反復することで相手をより理解出来ると思いました
- ・間を恐れず待とうと思った
- ・沈黙に関して患者役になってみて、苦ではないことに気づかされました。
- ・似たような体験で沈黙がたえられないことがあった。相手にとっては大事な時間であることを気づかされた
- ・面談の場で沈黙は良くあることで、日々何も言わず言葉が出るのを待っていますが、これで良かったと思っています
- ・カウンセリングの授業でも繰り返し取り組んだ会話の反復なのでごく有力であることを改めて実感しました。明日からスタッフ同士の会話も含め丁寧にやり取りしてみようと思います。沈黙の時間も大事ですね
- ・自分が優しい人間に感じられた

(8) 自施設で、「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」「(人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に話し合うプロセス)やエンドオブライフ・ケアの推進を行う時、何が重要だと思いますか。*特に必要な事項を(3つまで)ご記入ください。

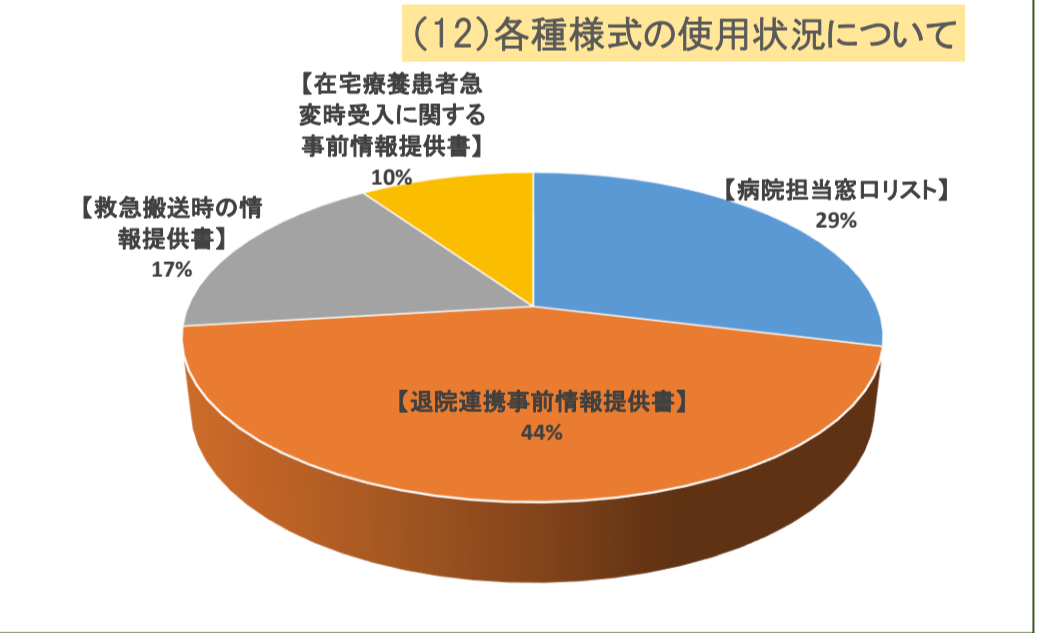
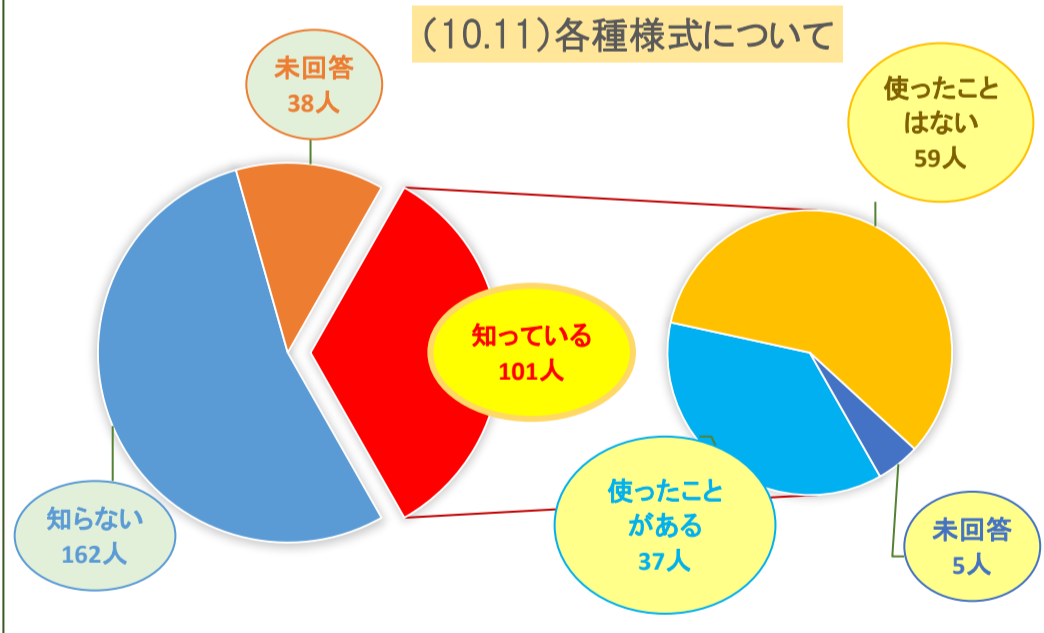


(9) 今後、佐世保市在宅医療・介護連携事業の多職種研修会で取り上げてほしい研修会等がございましたら教えてください。次回、研修会の参考といたします。

- ・2025年にむけ、市民のレベルで(地域の取り組み、個々人の参加について)介護予防からすすめていく時に足並みを揃えていく事が重要だと思います。在宅での医療の進め方、各事業所(病院、施設を含め)それぞれの機能の役割を考えながら、どう進めていくべきかなど、Dr.レベルの積極的参加をすすめてほしい(看介護はもちろんです)
- ・もう一度小澤先生の講演会をお願いしたい(3人)
- ・認知症の対応について(3人)
- ・在宅での(リハビリ・口腔)介護士のできる役割
- ・演習のある研修が良い
- ・柿木先生の口腔の話を知りたい
- ・感情のケア
- ・一般の方にどのように伝えていくとよいかを学びたい
- ・本人と家族の思いが違うときの意思決定支援
- ・ACPの書きかた、注意点。市民にACP文書を広げる

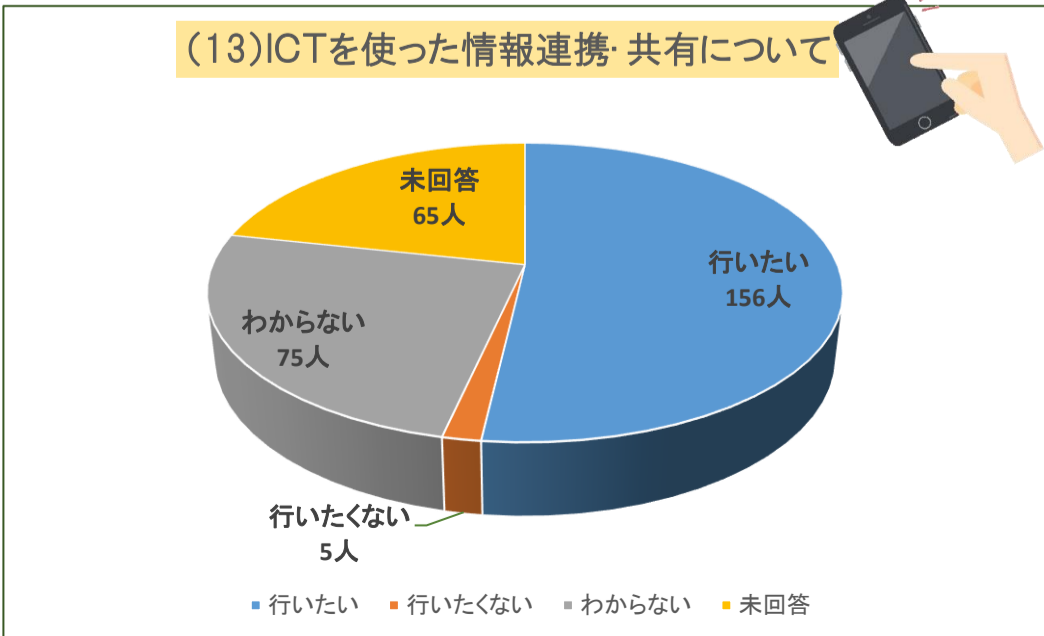
(10) 佐世保市在宅医療・介護連携ウェブサイト「かっちえて」から医療機関、施設情報の検索や【①病院担当窓口リスト】【②退院連携事前情報提供書】【③救急搬送時の情報提供書】【④在宅療養患者急変時受入に関する事前情報提供書】の様式のダウンロードができることを知っていますか。

(12) (11)で、『1.使ったことがある』とお答えになられた方へお伺いします。それは、どの様式ですか。*複数回答可。



(13) ICTを使った多職種による情報連携・共有についてお伺いします。

(14) (13)で、『2.使いたくない』『3.わからない』とお答えになられた方へお伺いします。その理由はなぜですか。



- 『使いたくない』理由
- ・うまく関係性を作ることが出来ない為
 - ・個人情報の管理が心配だから
- 『わからない』理由
- ・パソコン、タブレットに弱い
 - ・職場の環境が許せば使ってみたくて
 - ・タブレットの使い方すら分からないので申し訳ありません
 - ・タブレットの使い方に自信が無い 実際見てみたい
 - ・まだ知らないで判断できませんでした
 - ・本人、家族の思いがついてこれるのか。家族の負担等無いのかが気になる
 - ・使いたいが内容にACPを含むものがあれば使いたくない
 - ・使いこなせるか分からない
 - ・情報機器を使いこなせない為
 - ・イメージがよくわからない タブレット等の取扱いが苦手
 - ・共有している相手の表情、顔が見えない為
 - ・管理(情報が漏れる)などが不安(知識が無いため)